

第5学年2組 道徳指導案

指導者 谷田川 明美

1 主題名 くじけない心 1 (2) 不撓不屈, 希望

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

内容項目1 (2)は、「より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。」である。ここでは、希望をもつことの大切さ及び挫折感を克服する人間の強さを指導することが重要である。そのために、計画的に日常生活における努力目標を立て、くじけずに希望と勇気をもって取り組み、その理想に向かって着実に前進していこうとする強靱な意志と実行力とを育てる必要がある。5年生の発達段階を考えると、それぞれが高い理想を追い求める時期であり、児童はその理想に向かって努力しようとする心をもつと考える。しかし、現実には目標の実現が難しく、挫折感を味わう場面も多い。これからの児童にとって、自分のよさや可能性に自信をもって、生き抜く資質や能力を身につけることは特に大切である。

そこで、自分に対する夢や希望をもち努力することの大切さを自分とのかかわりからとらえ、自分のよさや可能性に気付き、目標の実現のために困難や失敗にくじけることなく、粘り強く取り組む意欲や態度を養っていきたいと考える。

(2) 児童の実態及びよさの気付きの分析 (男子16人, 女子9人, 計25人)

2学期に立てた学習・生活・その他の目標に対する意識調査を行った。自分の努力について「どの目標も努力している」と回答した児童は3人、反対に「どの目標も努力をしていない」と回答した児童は4人であった。行動の観察や記録からとらえると、別表1「児童のとらえ1 (2)」からわかるように、この時期の発達段階に見られる、自分に厳しく評価をしている児童は8人見られた。

また、表1の間1のイ、ウ、エ、間2のエと回答した児童は、自分を見つめる目が育ってきていることがわかる。

更に、間2のイと回答した児童は、自律しようとしているが、他者理解が足りないため努力する意欲を失ってしまったと見られる。間3でも、他律的な回答ア、イ、ウが0人で、全員が自律への芽生えを見せている。しかし、間1のア、イ、ウ、エの23人、間2のア、イ、ウの14人に見られるように、目標を立て努力し達成感を味わうといった成功体験が少ないこともうかがえる。また、間3の努力する自分に希望をもつことについても、目標を達成したときの希望をキ、ク、と15人が回答している。このことから、多くの児童が、心により高い自分を目指していることや自分自身により感情をもって取り組んでいきたいと感じていることがうかがえる。

これらのことから、体験や日常生活での気付きを、道徳の時間で更に、様々な視点から考えることによって道徳的価値の自覚を深めることが大切であると考え。特に、他者理解からの発問を工夫したり、活動を工夫したりして、児童の共感的な見方を深めていきたいと考える。また、話し合いで深めた道徳的価値の自覚を更に、終末で自分の心の中で見つめ直し、様々なよさに気付かせたい。そのために、自己評価を活用し道徳的価値の自覚の深化を図っていききたい。

また、特に、厳しい自己評価をしている児童については、保護者の質問紙によるアンケートや友だちの相互評価や教師の支援を通して自分によい感情をもてるようにしていきたい。

表1 意識調査(5年2組25人10月24日実施)

1. 2学期の目標への努力に対する自分の姿のふりかえりについての間		人数 (人)
回答	ア努力していないけど、まあいいや	0
	イ自分の弱い気持ちに負けてしまって努力がたりないなあ	8
	ウもう少し努力すればよかったなあ	9
	エ好きなことばかりではなくて違う目標もがんばろう	6
	オ自分はよく頑張っていると思う。	2
2. 努力に対する挫折の理由についての間 (複数回答)		人数
回答	ア自分に自信をなくしたり、自分には無理だと思った	6
	イ努力していたのに親や先生や友だちにいやなことを言われた	6
	ウ何度やっても結果が出ないから	2
	エ努力しようと思っても遊びたい気持ちに負けてしまったから	6
	オその他	7
3. 目標に向かってがんばっているときの気持ちの間		人数
回答	ア自分は達成できないかもしれない	0
	イいやだな、何でこんなことをやらなくてはいけないのかな	0
	ウがんばったらおこずかいをもらえるからがんばろう	0
	エみんなもがんばっているからがんばろう	3
	オ努力することが大切だからがんばろう	5
	カ自分をみがくためにがんばろう	2
	キ達成したら目標の自分に近づけるかな	2
	ク達成したら自分に自信がもてるかな	13

(3)資料について (資料名「くじけない」児童作文)

本資料は、運動会終了後に書いた学級の児童の作文である。筆者は、大変運動が苦手で、運動会の練習が始まってから毎朝、家で頭痛をうったえるほどであった。初めの組体操の練習では、技に苦勞し、意欲がもてず、いやな気分が描かれている。その筆者が、難易度の高い技でけがをする。しかし、そのけがにより筆者の心が大きく動き、自分に希望をもち、くじけずに練習し、組体操を成功させ達成感を味わうまでが書かれている。この作文には、学級の児童全員が体験した運動会の組体操を題材として、筆者の心の大きな動きが表現されているため、児童も実感を伴って共感的に理解できると思われる。また、筆者の心が大きく動いた経緯があまり詳しく書かれていない。これは、児童が自分自身の心と重ねて考えることができるため、児童にねらいとする価値を十分に考えさせられると考える。身近な友だちの作文に書かれている価値のよさや考えのよさに、自分を重ね合わせ、自分の心にも同様のよさがあることに気付かせたい。

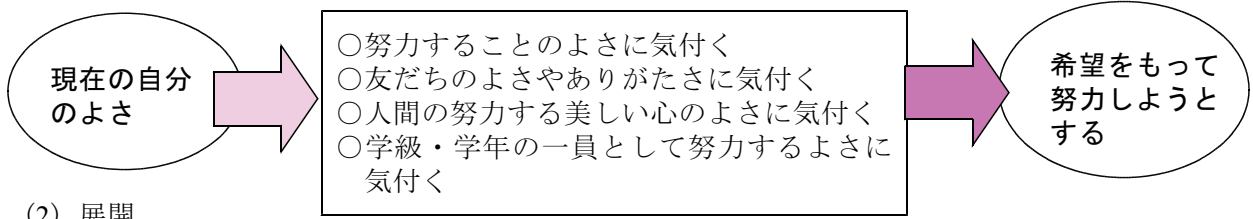
3 研究の主題に迫るために (事前・事後を含む)

	児童の活動	振り返り活動	児童のよさの気付き	深まり
事前体験・日常生活	1. 2学期の目標設定【学級活動】 2. 運動会の目標設定 <b>家庭学習</b> 3. 運動会【学校行事】 自己評価① (自分に気づく) ◎ねらい：児童が四つの視点から運動会や日常生活における現在の自分の姿や心の中の気持ちに気付く 4. 持久走大会の目標設定	・心のファイル ・作文 作文 手紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会での感動</li> <li>・友だちのがんばり</li> <li>・友だちの励ましでがんばれた</li> <li>・みんなに迷惑をかけないようにがんばった</li> <li>・ちょっと悔しかったけどやってよかった</li> <li>・途中休もうと思った</li> <li>・残念だった</li> </ul>	自分と様々なかわりの気付き・様々なよさの気付き・視点の広がり
本時	5. 自分見つめ「くじけない心」 保護者の評価① ◎ねらい：保護者から見た児童のがんばりを知り課題意識をもつ 自己評価② (自分を見つめ深める) ◎ねらい：四つの視点から自分の心を見つめとらえ直し、自分のいろいろなよさに気付く	・心のファイル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間は弱い心を誰ももっている</li> <li>・失敗しても努力することで成長する</li> <li>・努力して目標を達成すると自信がもてる</li> <li>・友だちのようにがんばれる自分になりたい</li> <li>・友だちを励まし努力したい</li> </ul>	
事後体験・日常生活	6. 持久走大会の練習 自己評価③ (自分をみがく) ◎ねらい：四つの視点から道徳の時間で自覚した価値の実践を行っている自分の姿やその時の気持ちに気付き実践力をみがく 保護者の評価② ◎ねらい：保護者から見た最近の自分のがんばりに気付く 7. 持久走大会【学校行事】 8. 3学期の目標設定【学級活動】 9. 6年生を送る会の計画・準備・運営 10. 卒業式【学校行事】 11. 1年間の反省【学級活動】	・心のファイル 作文 作文 作文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力したい気持ちはあるけどくじけていたな</li> <li>・困難なことにも希望をもって努力しよう</li> <li>・友だちのように考えたらがんばろうという気持ちがわいた</li> <li>・最近の自分は、弱い心に負けずに努力している</li> </ul>	

4 本時の指導

(1) ねらい

困難や失敗にくじけず、自分とのかかわりの四つの視点から自己のよさに気付き、希望をもって目標を実現しようとする態度を育てる。



(2) 展開

学 習 活 動	予想される児童の反応	教師の働きかけ
<p>1 保護者の評価と自己評価の比較を通して学習課題をつかむ。 ○グラフを見よう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>目標をもって努力することって・・・</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おうちの人の方と自分の見方にずれがある</li> <li>・自分はそんなにがんばっていない</li> <li>・もっとがんばっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の自己評価と保護者の評価をグラフにして、意識のずれを指摘し、努力することに課題意識をもてるようにする。</li> </ul>
<p>2 資料「くじけない」を読み話し合う。</p> <p>○組体操の練習が始まった時の筆者はどんなことを考えていたでしょう。 ・自分は ・みんなは</p> <p>○「けがをしたおかげで上の人を支えなければという強い気持ちがわきました。」とけがにくじけなかった気持ちを推理しよう。 ①発表する ②インタビューを聞く</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なかなかタワーができずに苦労した</li> <li>・けがばかりしていやになりそうだった</li> <li>・楽しかった</li> <li>・運動が苦手だからいやだな</li> <li>・熱も出てやめたいな</li> <li>・でも初めての組体操だからがんばりたいな</li> <li>・6年生に迷惑をかけないようにしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人には作文を読むことを事前に確認しておく。</li> <li>・運動会での練習風景の写真を掲示し、自分たちの体験でのくじけそうになる気持ちを想起させる。</li> <li>・自分の気持ちと重ね合わせて考えられるよう心のファイルで確認する。</li> </ul>
<p>3 四つの視点から自己をとらえる。</p> <p>◎タワーをどうするか自主的に円陣を組んで話し合っている写真から、話し合わせたみんなの心の力は何だろう。 ①ワークシートに書く ②カードを黒板に貼り話し合う</p> <p>○なるほどなと思った意見にネームカードを貼ろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上にのる人だって怖い。だから自分もがんばろう</li> <li>・一番下の人はずっと大変だから自分もくじけてはいられない</li> <li>・弱い心に負けたくない</li> <li>・くじけないで努力するから人間は成長する。</li> <li>・高学年の組体操の一員だからくじけたらみんなに迷惑がかかる</li> <li>・弱い心に負けずにがんばれば達成感を味わえる</li> <li>・練習すれば後から結果はついてくる</li> <li>・失敗してもくじけない心があるから努力しよう</li> <li>・友だちの励ましがあるから努力しよう</li> <li>・努力する姿に勇気ももらって努力しよう</li> <li>・学年の一員だと考えるから努力しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・けがや弱い気持ちを乗り越えた筆者の気持ちの動きを、自分に重ね合わせて推理することで共感的に考えることができるようにする。</li> <li>・実際にけがをしながらがんばっていた児童数人に、その時の気持ちをインタビューすることにより考えを深めることができるようにする。</li> <li>・一人一人の考えを黒板に貼り、自分の考えと友だちの考えの違いに気付かせる。</li> <li>・「自分自身」「他の人とのかかわり」「美しいと感じる心とのかかわり」「集団とのかかわり」から考えを整理し自己のとらえを広げることができるようにしたい。</li> <li>・事前の自己評価により心の動きをとらえておき、意図的に指名する。</li> <li>・ネームカードは複数貼ってもよいことを告げる。</li> </ul>

<p>4 自分の心と対話をする。 ○努力することについて自分の心を静かに見つめましょう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価を活用し四つの視点から、自分の心を見つめ、自分のよさに気付かせる。</li> </ul>
<p>「輝け！くじけない心②」</p> <p>2 持久走大会の目標への努力はどうですか。 【自分の現在の思い】</p> <p>ア 道徳的価値の自覚の深まりが高い イ 道徳的価値の自覚の深まりがやや高い ウ 道徳的価値の自覚の深まりがやや低い エ 道徳的価値の自覚の深まりが低い</p> <p>3 努力することについて友だちの考えや主人公の姿で気付いたことや心に強く残ったことはどんなことでしょうか。 【様々な道徳的価値の気づき】</p> <p>ア 道徳的心情・他者理解より イ 道徳的心情・人間理解より ウ 道徳的判断力・他者理解より エ 道徳的判断力・人間理解より オ 道徳的実践意欲・自己理解より カ 道徳的実践意欲・自己理解より キ その他</p> <p>4 授業を終えて努力することについてどのような自分でありたいですか。 【これからありたい自分】</p> <p>ア 自分自身とのかかわりから価値の自覚を深めた意見① イ 自分自身とのかかわりから価値の自覚を深めた意見② ウ 他人とのかかわりから価値の自覚を深めた意見 エ 自然や崇高なものとのかかわりから価値の自覚を深めた意見 オ 集団や社会とのかかわりから価値の自覚を深めた意見 カ その他</p>		
<p>5 今日の学習で努力することについて考えたことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望をもって努力することの大切さを考えてがんばろう</li> <li>自分の心にもがんばろうという気持ちがあるよ</li> <li>みんなではげまし合って努力したいな</li> <li>集団の一員として自分がんばろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>とってもしっかり努力できた</li> <li>だいたい努力はできた</li> <li>あまり努力できなかった</li> <li>努力できなかった</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>「私」は弱い心にくじけずに努力してすごいな</li> <li>人間は弱い心に負けてしまうときもあるけどよくなるとういう気持ちをもっている</li> <li>人間は失敗しても努力するから成長できる</li> <li>自分も弱い気持ちがあるけど努力してみよう</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>くじけずに目標をもって努力する大切さを考える</li> <li>失敗しても少しずつ努力する</li> <li>友だちと互いに励まし合って努力できる</li> <li>すばらしい行いに勇気をもらい努力できる自分</li> <li>学級や学年の一員としての自分を考えて努力する</li> </ul> <p>・自分自身で気付いたことを自由に記述させる。</p> <p>今日みんなの一生懸命考えようとする姿に「私も頑張ろう」という大きな勇気をもらいました。ありがとう。くじけそうになってもみんなで乗り切っていきましょう。</p>

5 評価

困難や失敗にくじけず、自分とのかかわりの四つの視点から自分のよさに気づき、希望をもって自分の目標を実現しようとする自己をとらえたか。 (自己評価, 発表)